

「こおりやまの米」通信

Vol.7 平成23年7月20日

編集：郡山市

JA 郡山市 (TEL. 921-0724)

NOSAI 郡山田村 (TEL. 933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)



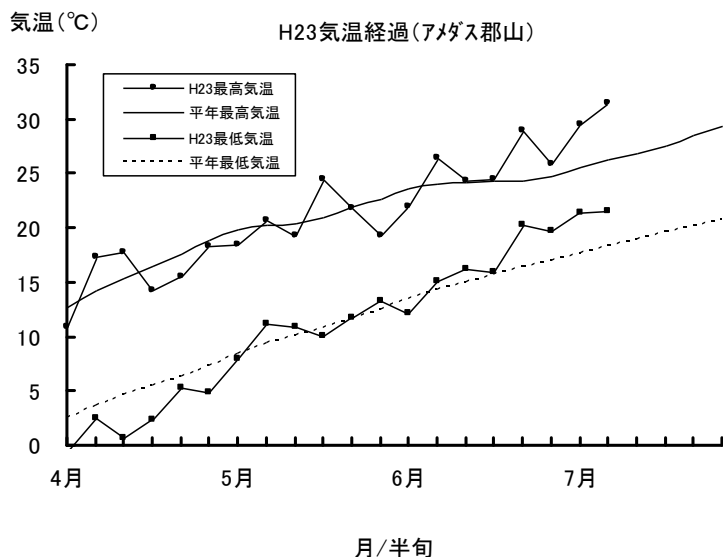
郡山市

イメージキャラクター

「かくとくん」

発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市営農推進課 TEL924-3761)

がんばろう ふくしま！



7月15日生育調査結果

品種	年次	草丈 cm	茎数		葉令
			株あたり	m ² あたり	
コシヒカリ (三穂田)	本年	77.6	25.7	450	11.1
	平年比 差	118%	89%	84%	+0.6
ひとめぼれ (片平)	本年	64.9	32.4	583	10.1
	平年比 差	106%	96%	102%	0

注) 湖南地区を除く

1 生育概況 草丈は長く、茎数は並～少なく

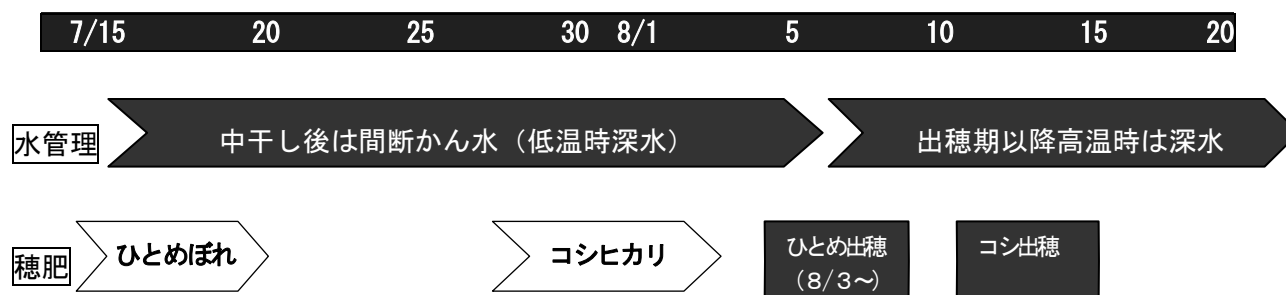
気温は6月上旬より最高気温、最低気温ともに平年より高くなりました。
7月15日時点では草丈は平年より長く、茎数は平年並～少なく、葉令は平年並～+0.6となりました。
幼穂の状況からひとめぼれの出穂は、8/3頃からと見込まれます。

2. 天気予報

東北地方 1か月予報 (平成22年7月15日 仙台管区气象台 発表)

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の降水量は、多い確率50%です。
週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

3. 作業のめやす



4. 水管理

- 中干し後は、間断かん水により根を健全に保ちましょう
(低温の恐れがある場合は深水にしましょう)。
- 出穂期以降に高温が続く場合は、できるだけ
掛け流しとし水田の水温・地温を下げ根の
活力を維持しましょう。

水管理期間中の水田水温と水田地温

区名	最高(°C)		最低(°C)		平均(°C)	
	水温	地温	水温	地温	水温	地温
掛け流し区	25.4	24.9	21.4	21.6	23.1	23.1
常時湛水区	28.4	26.2	23.4	24.1	25.4	25.1
間断湛水区	30.4	29.0	22.3	23.3	25.5	25.8

(2000年 福島農試)

5. 穂肥

- (1) 現時点での出穂は平年並の予想ですが、今後の天候により変化しますので、幼穂長等を確認し、適期に追肥しましょう。
- (2) コシヒカリは、減数分裂期（出穂 15～10 日前）にチッソ成分 2kg/10a を基本とします。草丈が長く葉色の濃いほ場は量を減らすか、時期を少し遅らせましょう。穂肥に有機質入り肥料を予定している場合は、施用時期に注意しましょう。
- (3) 出穂 5 日前以降の実肥は、玄米のタンパク質が高まり、食味が低下するので行わないでください。

* 基肥一発の場合は、原則として穂肥は行いません。

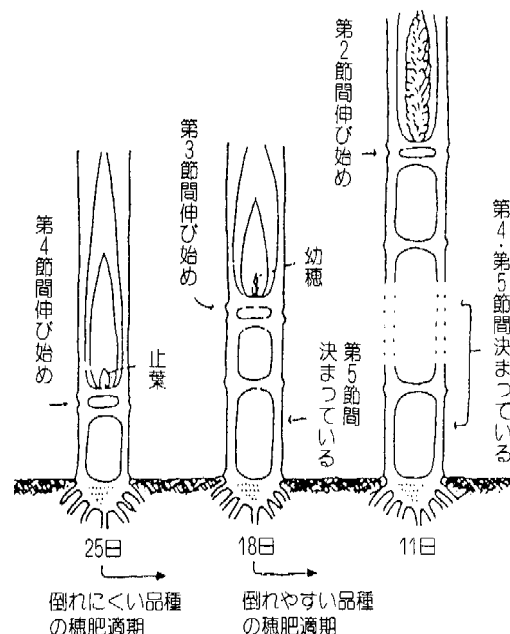
追肥のチッソ成分 2 k g の目安

(コシヒカリ、10 a あたり)

肥料銘柄	N-P-K	施用時期 (出穂前)	施用量
NKC6号	17- 0-17	15～10日	12kg
IB4号	15- 4-15	15～10日	13kg
こおりやま2号 (有機入り)	10- 2-10	18～13日	20kg

幼穂長による出穂前日数の判定

幼穂長	出穂前日数	備考
1.5mm	24日	幼穂形成期
2.0mm	20日	
40.0mm	15日	減数分裂期



<参考：倒伏懸念がある場合の穂肥対応目安>

品種名	倒伏懸念がある場合の対応		福島県施肥基準	
	穂肥時期の目安 (出穂前日数)	穂肥量の目安 (窒素成分)	標準的穂肥適期 (出穂前日数)	穂肥量 (窒素成分)
コシヒカリ	7日前	1 kg/10a	15日前	2 kg/10a
ひとめぼれ	15～10日前	1.5 kg/10a	25日前	

6. 病虫害防除

(1) いもち病防除

- ① コラトップ粒剤5などで予防する場合は、今すぐに散布しましょう。
- ② 田植え時に長期持続型殺虫殺菌剤を箱施用した場合でも、効果は徐々に落ちてきます。穂いもちには別に防除を行う必要があります。

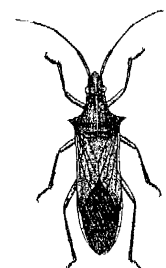
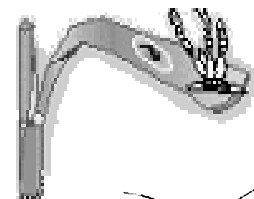
(2) 稲こうじ病は毎年同じ田で連続して発生します。モンガリット粒剤(出穂 21～14 日前)や Zポルドー粉剤 DL (出穂 10 日前まで) 等で防除しましょう。

(3) 斑点米カメムシ類の注意報がでました (カメムシの発生はやや多いと予想されています)。

例年発生の多い地域では、乳熟期と糊熟期に殺虫剤で防除しましょう。

※ミツバチなどの有用昆虫に対し長期間影響のある薬剤があるため、養蜂業者との連絡（所有者不明の場合は県中家畜保健衛生所 TEL923-1661）を密にし、事故のないようにしましょう。

※ 農薬は決められたとおり使用しましょう。他の農作物への飛散に注意しましょう。



ホソハリカメムシ

この資料は、平成23年7月19日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。